

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年 8月27日（月）

2 確認箇所

一時保管エリアG、T

3 確認項目

伐採木一時保管エリアにおける追加火災対策の実施状況

4 確認結果の概要

伐採木の一時保管エリアでは、これまでに、屋外火災監視カメラの設置、積み上げ高さの制限（5m未満）、内部温度の監視、消火器の設置及び防火水槽の設置等の火災対策が講じられてきており、一時保管エリアG及びTにおいては、8月中の完了予定で防火水槽の追加設置が計画されていることから、実施状況を確認した。

ア 一時保管エリアGの状況

- ・一時保管エリアGでは、伐採木（幹、根）を積み上げて保管しており、南側の出入口付近に既存の防火水槽3基が設置されている。（写真1）
- ・これに加え、計画どおり北側出入口付近に新たな防火水槽1基が設置されていた。（写真2）

イ 一時保管エリアTの状況

- ・一時保管エリアTでは、破碎してチップ化した伐採木を地下式の一時保管槽で保管しており、散水車1台が配備されている。（写真3）
- ・これまでは防火水槽は設置されていなかったが、計画どおり南西側出入口付近に防火水槽が1基設置されていた。（写真4）



（写真1-1）

一時保管エリアGの状況①

（南側出入口から撮影）



(写真1-2)
一時保管エリアGの状況②
(エリア中央を東側から撮影)



(写真2)
一時保管エリアGに追加設置された防火水槽の状況
(北側出入口付近(東側から撮影))



(写真3) 一時保管エリアTの状況
(エリア東側を北側から撮影) (エリア中央を東側から撮影)



(写真4)
一時保管エリアTの出入口に設置された防火水槽の状況
(出入口(南西側)から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。